

## 道内の主な施工実績 (過去20年)

『未来への挑戦は、  
歴史と実績が支えます』

※施工写真は承諾を得て掲載しております。



## 北海道立総合 体育センター (愛称 北海きたえーる)

—  
 体育センターの敷地は、緑豊かな豊平公園に隣接し、住宅地にも囲まれております。計画に当たっては「森と一体となった周辺環境に優しいスポーツの殿堂」をコンセプトとして、環境と調和し、市街地内に残された貴重な緑のオープンスペースを生かし、新たな都市景観の創造と近隣の生活を阻害しない施設配置を心がけて建設されております。



## 札幌コンサートホール (Kitara)

—  
 1997年7月、札幌コンサートホールKitaraは、市民の憩いの場として親しまれてきた中島公園に誕生しました。国際都市札幌にふさわしい音楽の殿堂を、と

いう声に応え、建設構想策定から6年目の夏でした。

1995年には、愛称を市民から公募。選ばれた「Kitara」という名前には、ギリシャ神話の音楽神アポロンの楽器「キターラ」と「北」の意味が込められています。2017年に開館20周年を迎えました。



## 白鳥大橋

—  
 室蘭のシンボルで東日本最大の吊り橋である白鳥大橋は構想から40年後の1998年に完成し、白鳥が羽を広げたような優雅な白い橋です。橋の魅力は昼間の

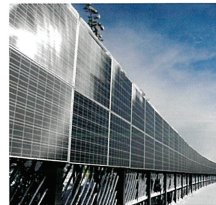
ダイナミックな景観と夜のライトアップイルミネーション。メインケーブルには228個、主塔には44個のライトが設置され風力発電により点灯されています。2008年には『日本夜景遺産・ライトアップ遺産』に選定されております。



## 札幌ドーム

日本で唯一の完全屋内天然芝サッカースタジアムであり、天然芝サッカー場移動方式「ホヴァリングシステム」を世界で初めて採用、2001年5月に完成しました。このシステムによりサッカー用天然芝グラウンドと野球用人工芝グラウンドの併用が可能となっています。日本ブ

ロサッカーリーグ（Jリーグ）北海道コンサドーレ札幌のホームスタジアム、日本プロ野球（NPB）パシフィック・リーグの北海道日本ハムファイターズの本拠地球場として使用されています。また、2011年にはドーム南側羊ヶ丘通り沿いの駐車場に、当時としては珍しい90度の傾斜角度を付けて太陽光パネルを設置し地球温暖化対策もおこなっております。



## 小樽警察署

2001年に新築された現庁舎は、1937年建設された旧庁舎の窓や玄関周りの意匠を踏襲した外観となっており、第14回小樽市都市景観賞を受賞しております。

## 釧路合同庁舎

釧路合同庁舎は官庁営繕組織として、3例目の免震構造の建物であり、大規模事務庁舎としては完成当時、初めてのものになります。さらに災害対策基本法による防災拠点としての官署（釧路開発建設部、釧路地方気象台）が入居する庁舎であります。

天然ゴム系積層ゴム支承64基、鉛ダンパー56基、及び鋼棒ダンパー32基から構成される免震装置が、1階床梁と地下1階から立ち上がる片持ち柱の間に設置されております。



## 北海道立畜産試験場

十勝平野の西北端、日高山脈の東斜面、標高220m～450mに位置し牧草地を含め1,620haという広大な土地と自然に恵まれた場所にあります。

この地において主に肉牛、馬などの大家畜の研究、技術開発に取り組んできた

新得畜産試験場と豚、鶏、羊の中小家畜の研究、開発が行われていた滝川畜産試験場との統合、新たな畜産研究の再編成に伴い改築されました。

現在6つの研究グループを中心として畜産に関する試験研究及び技術支援を行っております。



## JR 札幌駅及び JR タワー

札幌駅の高架化に伴う旧地上駅跡地の再開発事業により建設し、2003年開業駅ビルとしては、京都駅ビル、JR センtralタワーに次ぐ大規模再開発となりました。「アピア」「パセオ」「エスタ」や「札幌ステラプレイス」の総称を「JR タワース

クエア」としており「大丸札幌店」を合わせて北海道最大となるショッピングエリアを形成しています。

地下3階には地域冷暖房施設（地域熱供給）「札幌駅南口地区地域熱供給システム」として『第8回新エネ大賞』資源エネルギー庁長官賞、「札幌 JR タワーのコーディネート」として『第17回電気設備学会賞』技術部門賞を受賞しております。



## 北海道立羽幌病院

羽幌病院は、1階に道庁赤レンガを思わせるレンガ積み、2階より上はタイルとし、いずれも温かみのある暖色系の茶色をベースとする素材の組み合わせとなっております。

留萌地域の厳しい気象条件を勘案した外断熱工法、耐久性に配慮した外装材光庭による自然採光

の活用など、室内環境の向上や維持管理コストの低減に配慮されております。

北海道病院事業条例により一般疾患の治療を目的として設置された北海道立の病院の一つであり、また留萌第二次医療圏（留萌振興局管内）における地域センター病院として、広域医療も担っております。



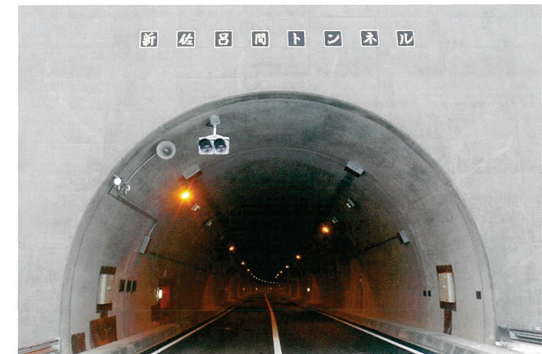
## 札幌コンベンションセンター

旧国鉄東札幌駅跡地の東札幌開発地区に2003年にオープンしました。地下1階地上3階建てで敷地面積は約41,000㎡、総床面積は約20,300㎡。6カ国語の同時通訳ブースを備えた特別会議場や2,500人を収容できる大ホールがあり国際会議や展示会、イベントなどが開催されております。

## 新佐呂間トンネル

新佐呂間トンネルは土砂崩落などが発生する恐れのある箇所をトンネルで回避することにより、物流の効率化や広域周遊観光ルートの形成など効果も期待され、災害に強く、安全・確実な交通ネットワークを確保するため、2009年3月に供用が開始されました。

また、開通により、緊急搬送が向上されました。





## 新千歳空港国際線 旅客ターミナル

急増する国際線の乗客に対応するため、2008年より地上4階・地下1階・延べ床面積61,000㎡の国際線旅客ターミナルビルを建設、2010年3月に運用を開始しました。国際線ターミナルは、国内線ターミナルの約250m西側に位置し、連絡橋で結ばれており、JRや国内線からの乗り継ぎも容易になっております。



## KKR 札幌医療センター

1988年に総合病院の認可を受けた、旧幌南病院以来の歴史を持ち、2006年の全面新築に伴い、KKR札幌医療センターと改称しました。また、がん検診と救急医療を2本の柱として、心臓血管外科、脳神経外科、放射線

治療部門、緩和ケア病棟集中治療センター等を新設・既設科を充実し、地域に密着した運営を行っております。

この実績により、2009年に地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、2010年には地域医療支援病院の承認を得ております。



## 札幌中央卸売市場

札幌中央卸売市場は道内の拠点市場として、札幌圏など約230万人の食を支えるとともに、北海道という大きな生産地の市場として全国に供給する重要な役割を担っています。1959年、全国で17番目に中央卸売市場として開設しましたが、市場機能の近代化と高度化を図るため、1999年に「再整備基本計画」を策定し、立体駐車場の建設に着手。2001年に新水産棟、2004年には新青果棟に着手。2006年に管理センター、センターヤード廃棄物集積所、外構整備及び第2守衛室の建設に着手。2007年2月には全ての工事が竣工したことにより、一連の市場施設の再整備が完了しました。また広大な施設を活用して自然エネルギーの利用促進を図るため市有施設では最大級の太陽光発電システムを2013年にセンターヤード屋上に設置しております。

## 門別競馬場ナイター 照明設置

門別競馬場は、北海道沙流郡日高町に位置し、1997年12月に開設されました。従来よりトレーニングセンターとして使用されていたコースを改修してホッカイドウ競馬の開催場所のひとつとして、2009年より開催のほとんどをここに集約することになりました。

また、その全日程をナイターレースにて行うことが決まり、新たに42基の照明塔が設置されました。

2016年には全面LED照明を導入し省エネを実現した施設となっております。



## 創成川通 アンダーパス連続化事業

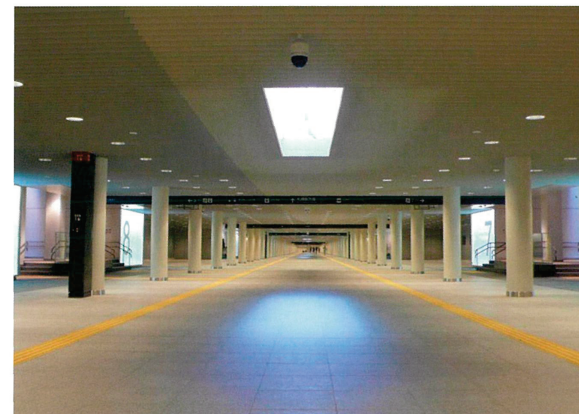
創成川通アンダーパス連続化事業は、1971年に完成した南アンダーパスと北アンダーパスの2つを連続化し、旧アンダーパス間の地上道路8車線のうち4車線を地下化することで都心通過交通とアクセス交通を分離し、通過交通の速達性確保、都心部の交通混雑緩和及び道路を横断する歩行者の安全確保を図りました。

また、車線の地下化により創出された約5,000 m<sup>2</sup>の地上空間を有効活用し、新たな親水緑地空間を路線中央に整備することで本路線を東西市街地の分断要素から連携要素へと質的に転換しました。



## 札幌駅前通 地下歩行空間

札幌駅周辺地区と大通地区とを地下歩道でつなげることにより、二極化している都心商業圏の回遊性を高め、四季を通じて安全で快適な歩行空間を確保するものです。季節や天候に左右されず、お年寄りや車椅子の方など誰もが安全・快適に移動できるバリアフリーな歩行空間が開通しました。



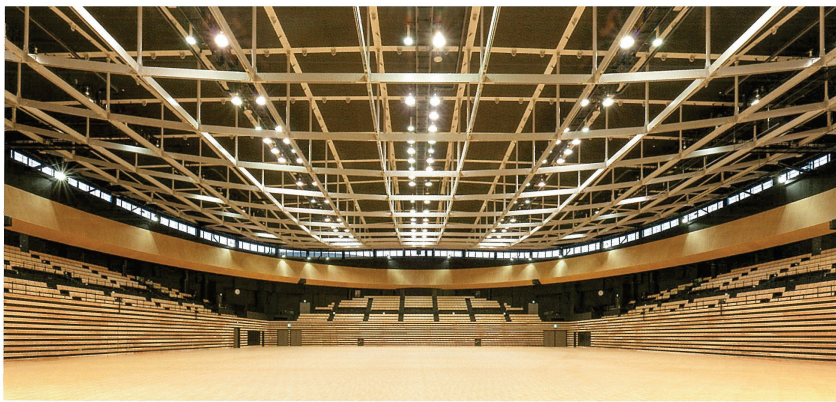
## JR 旭川駅新駅舎

旭川市が進めている駅周辺再開発事業「北彩都あさひかわ整備事業」の一環として建設され、2011年11月に全面開業しました。木工産業が盛んな旭川市の中心駅にふさわしく内装には北海道産のタモ材が使用されています。



## 札幌市カーリング場 (どうぎんカーリングスタジアム)

公設の通年型カーリング専用施設としては日本国内初となる施設で、ウィンタースポーツを楽しむ機会を提供するとともに、国際大会にも対応しています。また各種大会の実施、体験型観光の創出を目的とし「カーリング無料体験会」や「カーリング教室」も開催しております。



### 函館アリーナ

老朽化した函館市民体育館に替わる施設として湯川公園の敷地を活用して建設しました。コンベンション機能も備えた多目的施設になっており、2015年7月25・26日にこけら落とし公演として函館出身のバンドGLAYが『GLAY Special Live at HAKODATE ARENA GLORIOUS MILLION DOLLAR NIGHT Vol.2』を開催しました。



### JR 稚内駅新駅舎

日本国内の最北端にある鉄道駅でありホームに列車が到着すると自動音声放送で、「日本最北端の

駅、終点稚内駅到着です」と流れます。稚内駅前地区第1種市街地再開発事業に伴う稚内駅再開発ビル「キタカラ」に新しい駅舎(4代目)が開業しました。



### 白石区複合庁舎

旧白石区役所は、札幌市が政令指定都市に移行し施行された1972年に建設され施設の老朽化や、交通アクセスの不便さ、防災機能が不十分等の問題を抱えていました。そこで地下鉄白石駅に直結する白石区南郷通1丁目南に区役所及び区民センター等の関連施設を移転建替、2016年秋にオープンしました。札幌市の施設で初めて採用される免震構造で、緊急貯水槽を備え災害時に約1万人が3日間利用できる水を確保しています。停電時には庁舎の3分の1の電力を最長3日間まかなえるよう、自家発電装置を設置し、災害などの緊急時にも備えた設備を完備しております。

### JR 新函館北斗駅

北海道新幹線開業と同時に渡島大野駅から「新函館北斗駅」と改称し北海道の新たな玄関口となりました。

高さ15mの駅舎の壁面を覆う巨大ガラスが印象的で、建物を支える白く太い柱は、市内にあるトラピスト修道院へ続くポプラ並木をイメージしております。

また、天井や壁面には地元産の道南杉が使われており、地域の自然を感じながら一体化を強調したデザインとなっております。南口と北口を結ぶ自由通路の壁面はガラス張り、2階からは新幹線ホームを見下ろせ、駅舎の南側は観光協会が運営する「北斗市観光交流センター」となっており、1階にはアンテナショップと交流スペース、2階には観光案内所と飲食店を構えております。





---

## 北海道立北方四島 交流センター (ニ・ホ・ロ)

---

北方四島交流センターは、北方領土問題についての国内外の世論を一層盛り上げるとともに、北方四島に居住するロシア連邦国民と

の交流の促進を図る拠点施設です。

また、2階の北方資料館展示室には、北方領土に関する歴史的な写真、資料、物品等を多数展示しています。

ニ・ホ・ロとは、日本(ニ)とロシア(ロ)をつなぐ北海道(ホ)の交流拠点施設の意味です。



---

## 札幌医科大学 保健医療学部

---

札幌医科大学の主な教育施設（教育南棟、北棟、東棟）は、昭和40年代前半に建設され平成30年度までに対応年数が到来するなど老朽化が著しいことから、現在整備計画が進められています。

札幌医科大学施設整備構想に基づき、教育・研究・診療の充実と地域医療に貢献する人間性豊かな医療人を育成するための「研究機能」の充実強化を図るための改築工事が進められています。